

## 第11期

# 運用報告書(全体版)

## 日系外債オープン (為替ヘッジなし)

【2024年10月15日決算】

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
皆様の「日系外債オープン(為替ヘッジなし)」は、  
2024年10月15日に第11期決算を迎えましたので、期中  
の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。  
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し  
上げます。

**SBI 岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2019年4月1日から2045年4月14日までです。	
運用方針	日系外債マザーファンドⅡ(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、日本の企業およびその子会社等または政府系機関・地方自治体等の発行する外貨建債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	日系外債マザーファンドⅡ	取得時において投資適格の信用格付を取得している外貨建債券を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	日系外債マザーファンドⅡ	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年4月15日および10月15日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY		Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPY		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
7期(2022年10月17日)	11,991	190	8.7	330.7205	7.7	—	—	92.7	—	69
8期(2023年4月17日)	11,112	270	△5.1	321.3167	△2.8	—	—	93.6	—	91
9期(2023年10月16日)	11,935	260	9.7	354.4438	10.3	—	—	95.7	—	90
10期(2024年4月15日)	12,474	260	6.7	—	—	195.45	—	95.1	—	120
11期(2024年10月15日)	12,575	230	2.7	—	—	201.03	2.9	95.3	—	108

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

(注) 2023年12月29日にFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYからBloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYに参考指数を変更いたしました。

(注) FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYおよびBloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは当該日前営業日の指数値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

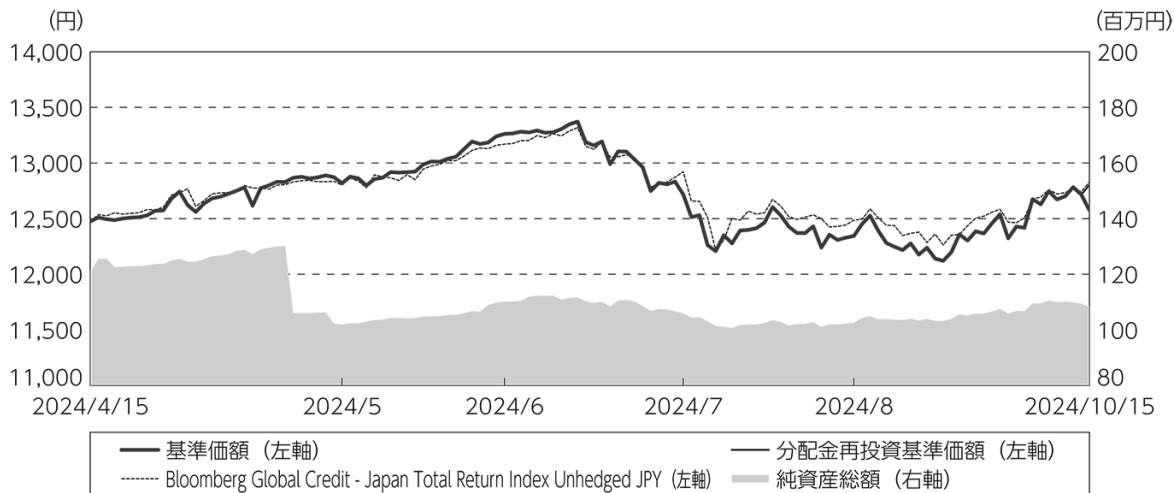
年月日	基準価額		Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPY		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)	円	%	ポイント	%	%	%
2024年4月15日	12,474	—	195.45	—	95.1	—
4月末	12,679	1.6	199.17	1.9	94.1	—
5月末	12,818	2.8	200.58	2.6	96.7	—
6月末	13,262	6.3	206.35	5.6	95.8	—
7月末	12,718	2.0	202.47	3.6	95.2	—
8月末	12,344	△1.0	195.65	0.1	92.6	—
9月末	12,323	△1.2	195.37	△0.0	95.4	—
(期末)						
2024年10月15日	12,805	2.7	201.03	2.9	95.3	—

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2024年4月16日～2024年10月15日）



期 首：12,474円

期 末：12,575円（既払分配金（税引前）：230円）

騰落率： 2.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYです。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2024年4月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「日系外債マザーファンドⅡ」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- ・保有債券の利回り低下による債券価格の上昇がプラス要因となりました。

#### (主なマイナス要因)

- ・投資対象とした米ドルやユーロの対円での下落がマイナス要因となりました。

## 投資環境

（2024年4月16日～2024年10月15日）

欧米の債券市場は、利回りが低下（債券価格が上昇）しました。物価指標の伸び率鈍化等を背景に、欧米の主要中央銀行が金融政策を緩和方向に転換したことから、買いが優勢な展開となりました。ただ、期末にかけては、事前の市場予想を上回る経済指標の発表等を受けて、先行きの利下げの織り込みが剥落し、利回りが低下幅を縮小する場面も見られました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、全般に縮小しました。欧米主要国が金融緩和局面入りとなり、投資家が先行きの金利水準の低下を意識した動きに向かうなかで、社債市場では利回りを求める資金の流入が優勢となりました。

為替市場については、米ドルが対円で下落しました。日本と海外の金利差（内外金利差）縮小を受けて、米ドルなど外貨の対円で売りが優勢となりました。また、2024年7月から8月にかけて日米の株価が急落するなど、金融市場の変動率（ボラティリティ）が高まったことも、内外金利差の確保を意図した外貨の持ち高縮小を促し、米ドルなどの対円での下落要因となりました。ただ、期末にかけては、米国の利下げ観測の弱まり等を背景に、米ドルが対円で下げ幅を縮小する場面も見られました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2024年4月16日～2024年10月15日）

「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入比率を概ね高位に保ちました。

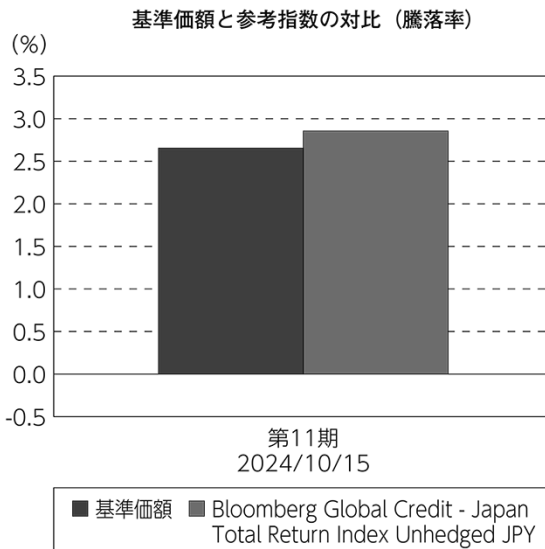
実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

「日系外債マザーファンドⅡ」においては、日本の企業およびその子会社等が発行する外貨建債券に投資を行い、同債券の組入比率は概ね高位を保ちました。銘柄の選定にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等での魅力が高いと判断される債券に着目しました。また、当期においては、市場動向に応じてポートフォリオのデュレーションを調整しつつ、利息収入の確保に努めました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年4月16日～2024年10月15日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているBloomberg Global Credit-Japan Total Return Index Unhedged JPYの騰落率を0.2%下回りました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYです。

分配金

（2024年4月16日～2024年10月15日）

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期につきましては、分配可能額、基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たり230円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第11期
	2024年4月16日～ 2024年10月15日
当期分配金	230
（対基準価額比率）	1.796%
当期の収益	230
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,574

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

欧米主要国の債券市場については、利回りの低下を予想します。引き続き欧米主要国のインフレは鎮静化に向かうと見られ、先行きの金融緩和を見越した買いが強まると考えています。

スプレッドについては、全般に縮小傾向となることを予想します。主要先進国の緩和的な金融環境が、発行体企業にとって資金調達等における支援材料になると見られることなどから、今後も市場の信用リスクに対する警戒感が高まり難いと考えています。また、先行きの低金利環境が意識されるなかで、投資家の利回り選好が続くと見られることも、社債市場を下支えすると見込んでいます。

為替市場については、米ドルなどが対円では概ね横這いとなることを予想します。引き続き日本と海外主要先進国の金融政策は、内外金利差を縮小させる方向にあると見られ、外貨の対円での売り要因になると思われます。一方、各国・地域の金融緩和が株式等リスク資産市場の安定を促すことも想定されるため、金融市場のボラティリティの低下が外貨の対円での買い要因になることも考えられます。このため、米ドルなどの対円相場は、売買交錯のなかで採み合う展開となることを見込んでいます。

このような状況下、当ファンドの運用においては、主要な投資対象である「日系外債マザーファンドⅡ」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。また、実質組入外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行いません。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年 4 月16日～2024年10月15日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(21)	(0.165)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	46	0.361	
期中の平均基準価額は、12,690円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

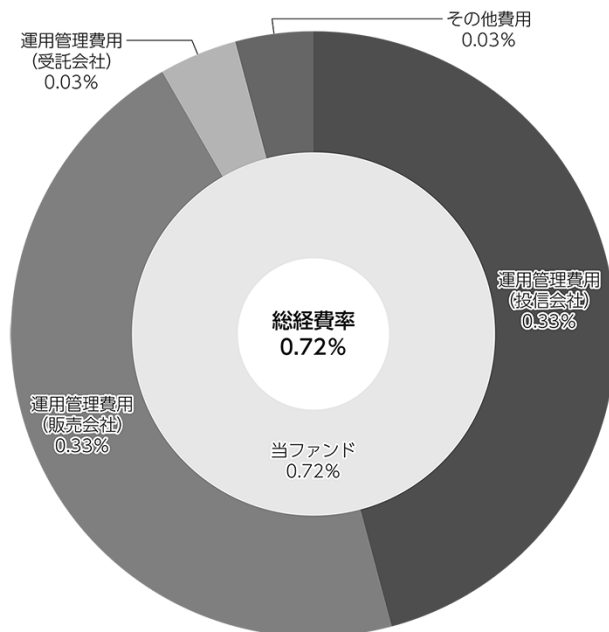
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.72%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2024年4月16日～2024年10月15日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日系外債マザーファンドⅡ	千口 13,521	千円 21,600	千口 22,989	千円 36,900

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2024年4月16日～2024年10月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2024年10月15日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日系外債マザーファンドⅡ	千口 76,022	千口 66,553	千円 107,098

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2024年10月15日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日系外債マザーファンドⅡ	千円 107,098	% 95.8
コール・ローン等、その他	4,646	4.2
投資信託財産総額	111,744	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）日系外債マザーファンドⅡにおいて、当期末における外貨建純資産（5,068,704千円）の投資信託財産総額（5,176,652千円）に対する比率は97.9%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝149.67円、1ユーロ＝163.25円です。



○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年10月15日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	111,744,206
コール・ローン等	4,646,164
日系外債マザーファンドⅡ（評価額）	107,098,020
未収利息	22
(B) 負債	3,520,010
未払収益分配金	1,979,520
未払解約金	1,151,201
未払信託報酬	382,073
その他未払費用	7,216
(C) 純資産総額（A－B）	108,224,196
元本	86,066,093
次期繰越損益金	22,158,103
(D) 受益権総口数	86,066,093口
1万口当たり基準価額（C／D）	12,575円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,2575円です。  
(注) 当ファンドの期首元本額は96,833,539円、期中追加設定元本額は26,169,161円、期中一部解約元本額は36,936,607円です。

○損益の状況（2024年4月16日～2024年10月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,067
受取利息	1,067
(B) 有価証券売買損益	2,735,475
売買益	3,771,563
売買損	△ 1,036,088
(C) 信託報酬等	△ 389,289
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	2,347,253
(E) 前期繰越損益金	5,538,178
(F) 追加信託差損益金	16,252,192
（配当等相当額）	（ 14,098,949）
（売買損益相当額）	（ 2,153,243）
(G) 計（D＋E＋F）	24,137,623
(H) 収益分配金	△ 1,979,520
次期繰越損益金（G＋H）	22,158,103
追加信託差損益金	16,252,192
（配当等相当額）	（ 14,201,811）
（売買損益相当額）	（ 2,050,381）
分配準備積立金	5,905,911

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) 収益分配金

決算期	第11期
(a) 配当等収益（費用控除後）	2,228,612円
(b) 有価証券等損益額（費用控除後、繰越欠損金補填後）	118,641円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	16,252,192円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	5,538,178円
分配対象収益（a＋b＋c＋d）	24,137,623円
分配対象収益（1万口当たり）	2,804円
分配金額	1,979,520円
分配金額（1万口当たり）	230円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## ○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税引前）	230円
支払開始日	2024年10月21日（月）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

### 〈お知らせ〉

該当事項はございません。

### 〈当ファンドの参考指数について〉

日系外債オープン（為替ヘッジなし）（以下、「当ファンド」といいます。）の開発は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社（以下、総称して「LSEグループ」といいます。）は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY（以下、「本指数」といいます。）にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE®」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a) 本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または (b) 当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

「Bloomberg®」およびBloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、SBI岡三アセットマネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはSBI岡三アセットマネジメント株式会社とは提携しておらず、また、当ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2024年10月15日現在）

<日系外債マザーファンドⅡ>

下記は、日系外債マザーファンドⅡ全体(3,216,868千口)の内容です。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	29,000	29,512	4,417,131	85.3	—	70.8	—	14.5
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
オランダ	2,000	1,937	316,220	6.1	—	6.1	—	—
日本	1,500	1,547	252,585	4.9	—	3.3	1.6	—
合 計	—	—	4,985,936	96.3	—	80.2	1.6	14.5

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

日系外債オープン（為替ヘッジなし）

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	特殊債券 (除く金融債)	DEV BANK JAPAN 5.125	5.125	2,000	2,031	303,991	2026/9/1
		JAPAN BANK COOP 4.375	4.375	1,000	1,006	150,608	2031/1/24
		JAPAN BANK COOP 4.625	4.625	1,000	1,023	153,112	2034/4/17
	普通社債券 (含む投資法人債券)	AMERICAN HONDA F 5.85	5.85	1,000	1,065	159,409	2030/10/4
		AOZORA BANK 5.9	5.9	1,000	1,008	150,979	2026/9/8
		ASAHI MUTUAL LIF 6.9	6.9	2,200	2,298	344,045	—
		CENT JAPAN RAIL 4.25	4.25	1,000	870	130,215	2045/11/24
		DAI-ICHI LIFE 4	4.0	1,400	1,371	205,334	—
		DAI-ICHI LIFE 5.1	5.1	800	799	119,691	—
		FUKOKU MUTUAL 6.8	6.8	2,000	2,170	324,816	—
		MEIJI YASUDA LIF 5.1	5.1	1,400	1,399	209,527	2048/4/26
		MEIJI YASUDA LIF 5.2	5.2	1,600	1,595	238,832	2045/10/20
		MITSUB UFJ FIN 8.2	8.2	1,000	1,101	164,837	—
		mitsui SUMITOMO 4.95	4.95	2,600	2,579	386,145	—
		MUFG BANK LTD 4.7	4.7	1,000	936	140,221	2044/3/10
		NIPPON LIFE INS 6.25	6.25	2,000	2,135	319,647	2053/9/13
		NOMURA HOLDINGS 5.099	5.099	1,000	1,000	149,807	2025/7/3
		NTT FINANCE 5.136	5.136	1,000	1,020	152,688	2031/7/2
		SUMITOMO LIFE 5.875	5.875	2,000	2,057	307,946	—
		SUMITOMO MITSUI	6.6	1,000	1,047	156,851	—
TOYOTA MTR CRED 3.4	3.4	1,000	991	148,420	2025/4/14		
小 計					4,417,131		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	JT INTL FIN SERV 2.375	2.375	1,000	978	159,691	2081/4/7
		JT INTL FIN SERV 2.875	2.875	1,000	958	156,528	2083/10/7
日本	特殊債券 (除く金融債)	JPN FIN ORG MUNI 2.375	2.375	500	495	80,872	2027/9/8
		普通社債券 (含む投資法人債券)	EAST JAPAN RAIL 4.11	4.11	1,000	1,051	171,712
小 計					568,805		
合 計					4,985,936		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 変動利付債の利率は、期末における利率です。

(注) 償還年月日が「—」表示の銘柄は永久債です。

日系外債マザーファンドⅡ  
第6期 運用状況のご報告  
決算日：2024年1月15日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦の企業およびその子会社等（海外子会社等を含みます。）または政府系機関・地方自治体等の発行する、主に米ドルを中心とした先進国通貨建ての債券に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	取得時において投資適格の信用格付を取得している外貨建債券を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY (参考指数)		Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPY (参考指数)		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	期騰落	期中率	期騰落	期中率	期騰落	期中率			
2期(2020年1月15日)	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
	11,114	11.6	275.5717	8.8	—	—	95.8	—	2,247
3期(2021年1月15日)	11,199	0.8	280.8471	1.9	—	—	97.6	—	1,879
4期(2022年1月17日)	12,249	9.4	297.9597	6.1	—	—	95.1	—	2,148
5期(2023年1月16日)	12,502	2.1	303.4378	1.8	—	—	94.8	—	2,093
6期(2024年1月15日)	14,823	18.6	—	—	188.15	—	95.8	—	4,423

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYおよびBloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは当該ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYおよびBloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは当該日前営業日の指数値です。

(注) 2023年12月29日にFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYからBloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYに参考指数を変更いたしました。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

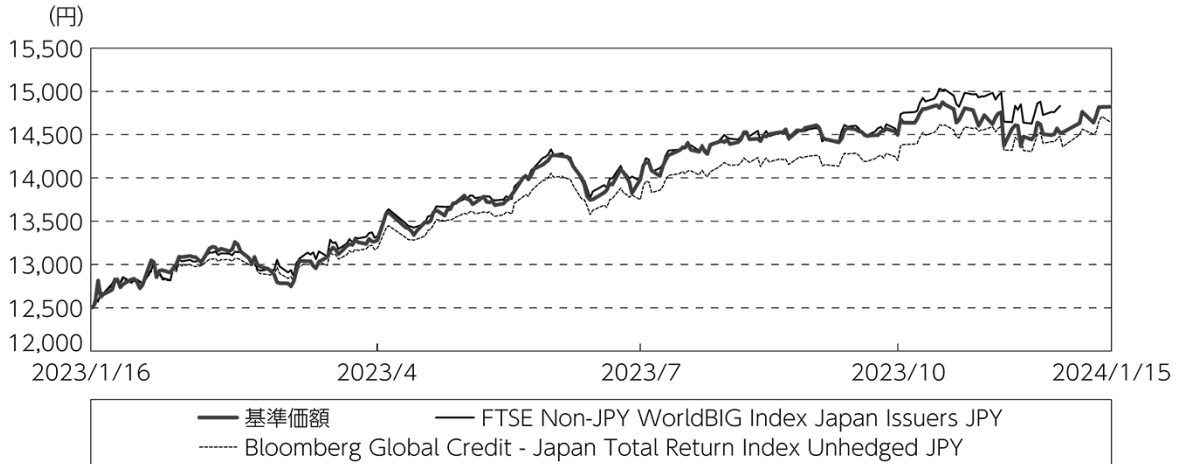
年 月 日	基 準 価 額		FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY	Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPY	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率		
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)				
(期 首) 2023年1月16日	円 12,502	% —	ポイント 303.4378	% —	ポイント —	% —	% 94.8	% —
1月末	12,834	2.7	311.2479	2.6	—	—	87.0	—
2月末	13,204	5.6	318.8823	5.1	—	—	95.4	—
3月末	13,043	4.3	317.1734	4.5	—	—	95.8	—
4月末	13,282	6.2	323.5322	6.6	—	—	96.8	—
5月末	13,747	10.0	334.8299	10.3	—	—	96.0	—
6月末	14,263	14.1	346.2895	14.1	—	—	97.0	—
7月末	13,983	11.8	338.9748	11.7	—	—	95.8	—
8月末	14,442	15.5	351.1943	15.7	—	—	95.7	—
9月末	14,585	16.7	353.3910	16.5	—	—	93.3	—
10月末	14,498	16.0	352.3431	16.1	—	—	93.6	—
11月末	14,663	17.3	362.6790	19.5	—	—	96.5	—
12月末	14,525	16.2	—	—	184.50	—	96.4	—
(期 末) 2024年1月15日	14,823	18.6	—	—	188.15	—	95.8	—

(注) 騰落率は期首比。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2023年1月17日～2024年1月15日)



(注) 参考指数は、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYおよびBloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYです。

(注) 参考指数は、期首（2023年1月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 2023年12月29日にFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYからBloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYに参考指数を変更いたしました。

そのため、FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYの推移は2023年12月28日までを記載、Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYの推移は見やすさの観点から期首（2023年1月16日）より記載しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- ・主要通貨の対円での上昇がプラス要因となりました。
- ・一部の保有債券の利回り低下による債券価格の上昇がプラス要因となりました。

## (主なマイナス要因)

- ・一部の保有債券の利回り上昇による債券価格の下落がマイナス要因となりました。



**投資環境**

(2023年1月17日～2024年1月15日)

欧米の債券市場は、前期末対比では米国で利回りが上昇（債券価格が下落）し、欧州では概ね横這いとなりました。2023年10月にかけては、欧米の主要中央銀行の金融引き締め等を背景に、売りが優勢な展開となりました。また、米国では国債の増発を警戒した売りなども、利回りの上昇要因となりました。ただ、その後は市場予想を下回る経済指標を受けて、先行きの景気減速と金融政策の方針転換が意識されたことから買いが強まり、全般に利回りが低下（債券価格が上昇）する動きとなりました。

スプレッド（社債と国債の利回り格差）については、期を通じて縮小する動きとなりました。堅調な株価動向等を背景に、全般には投資家の利回り選好が強い展開となりました。また、2023年3月の米国の地方銀行の経営破綻を受けて、米連邦準備制度理事会（FRB）が流動性供給等の迅速な対応を行ったことは、市場の混乱を早期に収束させるとともに、その後も投資家に安心感を与えたと見られ、スプレッドの安定に寄与しました。

為替市場については、期を通じて主要通貨が対円で上昇しました。内外金利差の拡大等を背景に、主要通貨が対円で買う動きが優勢となりました。ただ、期末にかけては、海外の金利先高観の弱まりから、主要通貨が対円で上げ幅を縮小する場面も見られました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年1月17日～2024年1月15日)

債券組入比率は概ね高位を維持し、利息収入の確保に努めました。ポートフォリオのデュレーションは、市場動向に応じて調整し、当期末時点では4.76年程度としました。投資する銘柄の選択にあたっては、流動性、信用リスクに留意しつつ、利回り、業績、財務面等の魅力が高いと判断される債券に着目しました。

組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年1月17日～2024年1月15日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は、2023年12月28日まではFTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPYでしたが、2023年12月29日以降は、Bloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYに変更いたしました。このため、当期中に参考指数が変更となったことから当ファンドとの比較ができないため、騰落率の掲載は行っていません。

**今後の運用方針**

欧米の債券市場については、利回りが低下する展開を予想します。引き続き、景気減速とインフレ鎮静化を見越した買いが、優勢となることを見込んでいます。

スプレッドについては、概ね安定した動きとなることを予想します。欧米の主要中央銀行による先行きの金融緩和を期待した社債投資が続き、クレジット市場は総じて下支えされると見込んでいます。また、全般に格付け水準が高い日本企業の財務状況は健全であり、今後の景気減速による信用力への影響は限定的と見られることも、スプレッドの安定を促すと考えています。

為替市場は、全般に横這い推移となることを予想します。欧米の金利先高観の後退が主要通貨の対円で売り要因となる一方、先行きの金融緩和を期待したリスク志向の高まりが主要通貨の対円で買いを促すと考えられることもあり、全般には売買交錯の中で揉み合う展開となることを見込んでいます。

このような状況下、当ファンドの運用においては、債券組入比率を高位に維持し、利息収入を主な収益源として、安定したパフォーマンスの実現を目指す方針です。また、ポートフォリオのデュレーションは、市場動向に応じて調整を図ります。

○1万口当たりの費用明細

(2023年1月17日～2024年1月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(2)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.016	
期中の平均基準価額は、13,922円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年1月17日～2024年1月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	特殊債券	千米ドル 2,944	千米ドル 332
		社債券（投資法人債券を含む）	26,741	10,384 ( 5,600)
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	オランダ	社債券（投資法人債券を含む）	1,327	988
日 本	特殊債券	1,393	1,383	
	社債券（投資法人債券を含む）	2,655	2,950	

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年1月17日～2024年1月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年1月15日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	28,100	27,137	3,939,616	89.1	—	79.2	—	9.9
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
オランダ	2,000	1,879	298,924	6.8	—	6.8	—	—
合 計	—	—	4,238,540	95.8	—	85.9	—	9.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

日系外債マザーファンドⅡ

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	特殊債券 (除く金融債)	DEV BANK JAPAN 1.25	1.25	1,000	811	117,785	2031/1/28
		JAPAN BANK COOP 1.875	1.875	2,400	2,024	293,854	2031/4/15
		JAPAN INT'L COOP 1.75	1.75	800	666	96,800	2031/4/28
	普通社債券 (含む投資法人債券)	AMERICAN HONDA F 5.8	5.8	1,000	1,018	147,810	2025/10/3
		AMERICAN HONDA F 5.85	5.85	1,000	1,068	155,047	2030/10/4
		ASAHI MUTUAL LIF 6.9	6.9	2,200	2,254	327,291	—
		CENT JAPAN RAIL 4.25	4.25	1,000	858	124,586	2045/11/24
		DAI-ICHI LIFE 4	4.0	1,400	1,339	194,384	—
		DAI-ICHI LIFE 5.1	5.1	1,200	1,188	172,604	—
		FUKOKU MUTUAL 6.8	6.8	2,000	2,099	304,775	2999/12/31
		MEIJI YASUDA LIF 5.1	5.1	400	390	56,692	2048/4/26
		MEIJI YASUDA LIF 5.2	5.2	2,100	2,071	300,762	2045/10/20
		MITSUB UFJ FIN 8.2	8.2	1,000	1,080	156,819	—
		MITSUI SUMITOMO 4.95	4.95	2,600	2,516	365,390	—
		MIZUHO FIN GROUP 4.6	4.6	1,000	996	144,704	2024/3/27
		MUFG BANK LTD 4.7	4.7	1,000	904	131,312	2044/3/10
		NIPPON LIFE INS 6.25	6.25	2,000	2,087	303,062	2053/9/13
		SUMITOMO LIFE 5.875	5.875	2,000	2,000	290,467	—
		SUMITOMO MITSUI 4.436	4.436	1,000	996	144,632	2024/4/2
		TAKEDA PHARM 3.025	3.025	1,000	763	110,830	2040/7/9
小 計					3,939,616		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	JT INTL FIN SERV 2.375	2.375	1,000	956	152,147	2081/4/7
		JT INTL FIN SERV 2.875	2.875	1,000	923	146,777	2083/10/7
小 計					298,924		
合 計					4,238,540		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 変動利付債の利率は、期末における利率です。

(注) 償還年月日が「—」表示の銘柄は永久債です。

○投資信託財産の構成

(2024年1月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	4,238,540	89.9
コール・ローン等、その他	476,423	10.1
投資信託財産総額	4,714,963	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(4,276,243千円)の投資信託財産総額(4,714,963千円)に対する比率は90.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=145.17円、1ユーロ=159.02円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年1月15日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	4,743,796,471	
コール・ローン等	154,469,259	
公社債(評価額)	4,238,540,550	
未収入金	290,141,621	
未収利息	51,358,141	
前払費用	9,286,900	
(B) 負債	319,871,565	
未払金	319,870,822	
未払利息	103	
その他未払費用	640	
(C) 純資産総額(A-B)	4,423,924,906	
元本	2,984,473,009	
次期繰越損益金	1,439,451,897	
(D) 受益権総口数	2,984,473,009口	
1万口当たり基準価額(C/D)	14,823円	

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,4823円です。  
(注) 当ファンドの期首元本額は1,674,643,403円、期中追加設定元本額は2,374,082,712円、期中一部解約元本額は1,064,253,106円です。  
(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。  
北陸みらい応援ファンド(愛称 北陸のかがやき) 1,404,090,725円  
くまもと未来応援ファンド(愛称 復興投信) 774,025,017円  
リスク抑制型・資産バランスファンド(愛称 いがた創業応援団) 610,462,779円  
日系外債オープン(為替ヘッジあり) 134,056,400円  
日系外債オープン(為替ヘッジなし) 61,838,088円

## ○損益の状況 (2023年1月17日～2024年1月15日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	180,612,171	
受取利息	180,645,400	
その他収益金	13,520	
支払利息	△ 46,749	
(B) 有価証券売買損益	463,258,077	
売買益	515,321,734	
売買損	△ 52,063,657	
(C) その他費用等	△ 672,085	
(D) 当期損益金(A+B+C)	643,198,163	
(E) 前期繰越損益金	419,013,340	
(F) 追加信託差損益金	797,087,288	
(G) 解約差損益金	△ 419,846,894	
(H) 計(D+E+F+G)	1,439,451,897	
次期繰越損益金(H)	1,439,451,897	

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;お知らせ&gt;

- ・SBI岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2023年7月1日)
- ・2024年1月から開始されるNISA成長投資枠への対応を目的として、デリバティブ取引に係る利用目的の明確化に関する投資信託約款の変更を行いました。(実施日:2023年7月15日)

## &lt;当ファンドの参考指数について&gt;

日系外債マザーファンドⅡ(以下、「当ファンド」といいます。)の開発は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社(以下、総称して「LSEグループ」といいます。)は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。FTSE Non-JPY WorldBIG Index Japan Issuers JPY(以下、「本指数」といいます。)にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a)本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または(b)当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。「Bloomberg」およびBloomberg Global Credit - Japan Total Return Index Unhedged JPYは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited(以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークであり、SBI岡三アセットマネジメント株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはSBI岡三アセットマネジメント株式会社とは提携しておらず、また、当ファンドを承認、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、当ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。